

第二回摂津市デリバリー方式選択制中学校給食検討委員会

開催日時 平成25年8月30日（金） 午後3時00分開会
午後4時30分閉会

開催場所 摂津市役所 本館3階 301会議室

出席者 尾崎 美穂 委員
敷本 悟 委員
筒井 豊 委員
竹田 浩昭 委員
西村ゆり子 委員
濱西 加代子 委員

事務局 総務部長 山本 和憲
保健給食係長 森崎 孝弘
保健給食係主事 寺嶋 和
保健給食係栄養士 川村 佳菜

事務局

それでは、定刻となりましたので第2回摂津市デリバリー方式選択制中学校給食検討委員会を開催いたします。

委員の皆様におかれましては、本日もご多忙の中、ご出席いただき有難うございます。なお、岡部委員におかれましては、本日は公務のご都合で出席できない旨の連絡をいただいております。岡部委員より別途ご意見を書面にてお預かりしておりますので、協議の途中で委員長より紹介していただけたらと思います。

議事に入ります前に、委員の変更について、お知らせさせていただきます。お手元の資料1をご覧ください。小学校の保護者代表として、藤井華子様にご依頼させていただいていたところですが、今回の日程においては3回とも欠席になるとの連絡を受け、辞退の意向がありましたので、小学校の保護者代表を資料1にありますように味舌小学校副会長の吉田和美様に委員をお願いすることとなりました。急なご依頼であったため、本日は都合がつかず、欠席となっておりますが、書面にてご意見はいただいております。後ほど委員長よりご意見を紹介していただけたらと思います。なお、本日の検討委員会の終了時刻でございますが、午後4時30分とさせていただきますので、ご協力よろしくお願いいたします。それでは、委員長に進行をお願いいたします。

委員長

それでは、次第に沿って進めてまいります。議事(1)「第1回検討委員会概要」について、事務局より説明をお願いします。

事務局

(説明省略)

資料2を利用して、第1回摂津市デリバリー方式選択制学校給食検討委員会の概要について説明

事務局

第1回終了後に、尾崎委員より要望書を提出していただきました。本日の議事に加えさせていただき、後ほど本市としての現状での方針あるいは回答、協議したい点を述べたいと思います。

委員長

よろしいでしょうか。

次に、議事(2)「デリバリー方式中学校給食の保管・提供方法について」ですが、事務局より説明をお願いします。

事務局

(説明省略)

資料3・4を利用して、デリバリー方式中学校給食の保管・提供方法について説明

委員長

茨木市・吹田市と同様の、温蔵庫、冷蔵庫の配備等につきまして、ご意見をよろしくお願いいたします。

西村委員

確かにメリットが多いに越したことはないのですが、やはり「給食」ということで確実にきっちりと管理しないといけない部分があるので、どうしてもはずせない部分がデメリットに入る場合は、そちらを選択するのは望ましくないと思います。ということで、はずせない部分というのが「温度管理」です。子どもたちに衛生的で安全な給食を提供するということが大前提ですので、温度管理に不安が残るコンテナでの保管というのは私としては選択すべきではないと思います。本来ならデメリットが少なくメリットがたくさんある方を選択すべきかもしれませんが、このデメリットはかなり大きな比重を占めていると思いますので、こちらは選択すべきではないと思います。学校にきちんと冷蔵庫と温蔵庫を整備していただきたいと思います。

委員長

衛生面から意見を言っていました。

竹田委員

平成19年当時でしたのでかなり前ですが、吹田で経験したことをお話しさせていただきます。どこの業者にこの提供をお願いするかわからないですが、当時は八尾市の業者から運ばれていました。交通事情でギリギリに配送されてきたりもしていました。やはりこの温度管理はかなり重要だと思います。早く配送されてくることもありました。大変な設備投資だと思いますが、「子どもたちの安全のためには温蔵庫と冷蔵庫できっちりと管理する」、これが吹田市のとった方法です。我々も安心して子どもたちに給食を与えられました。19年といえば、中学校給食が始まったばかりでしたので不安もありましたが、こういうきっちりとした設備を整えることによって安全な給食を提供できるという風に思っています。吹田市同様に、冷蔵庫と温蔵庫を整備する方法がいいと思います。

筒井委員	この温蔵庫と冷蔵庫は費用的にはどのようなものですか。
委員長	事務局どうでしょうか。
事務局	温蔵庫と冷蔵庫と、他にも検食用の冷凍庫が必要になります。これは保温コンテナのみで保管することになっても必ずいるものなのですが、特に温蔵庫と冷蔵庫に関しては、端数をとらせていただいて概ね1台100万円程度が見積もりの上限額です。実際は各業者入札されますので、もう少し金額は下がると思います。仮にごはん用と汁物用に温蔵庫を2台、おかず用に冷蔵庫を置いた場合に大体1校あたり300万円。また、給食ですので牛乳保冷庫も必要です。これも1台100万円程度が上限なので、1校で400万円プラス検食用の冷凍庫の備品代がいらいます。検食用冷凍庫は大体80万円程度が上限額です。ですので、1校の最大値が500万円です。他市の決算額を見ますと、入札の結果1校あたり400万円程度には落ち着いています。
委員長	はい、尾崎委員どうでしょうか。
尾崎委員	皆さんが言っているとおり、安全が第一だと思います。実際に現在中学校にお弁当を持って行かせて、保護者の皆さんはお弁当の保温環境をすごく気にされて、保冷剤をたくさん入れたりしています。昔に比べて、学校にクーラーがあるのでだいぶ涼しくなっているのでその面では安心かなと思いつつも、やはりおかずのことはすごく気にして入れています。なるべく腐らないものを入れたり、菌の繁殖しないシートを敷いてみたりしている状態なので、給食として提供するのであれば、安全面は優先してもらいたいです。今はコンビニでも安全管理がきちりされていると思うので、冷蔵庫と温蔵庫なしの方を選択するのであれば、コンビニ弁当の方が安全じゃないかという風になってしまうので、保護者としてはより安全な提供方法をお願いしたいと思います。
委員長	方向性がだいぶ出ていますが、濱西委員いかがでしょうか。
濱西委員	冷蔵庫や温蔵庫に移し変えるときに温度が変わったりはしない

のでしょうか。

事務局

工夫の方法はあります。現在先進市でされているのは、保温コンテナの中にカゴを入れてから10個～20個のお弁当を入れ、そのカゴごとまとめて温蔵庫や冷蔵庫に入れるという形があり、その方法に移行されている自治体が多いです。もう1点は、配膳室に必ず空調を配備しています。小学校でも配膳室にクーラーをとという意見があるように、配膳室には空調を必ず配備します。その2点で温度差を最小限にとどめるというのが現在の先進市の事例です。

濱西委員

そういうことが可能であるならば、安全を第一に考えて、温蔵庫と冷蔵庫があった方がいいのではないかと思います。

委員長

保温コンテナについてはご意見いかがでしょうか。

尾崎委員

保温コンテナにしても毎日のことですし、トラックも遅れることもあれば早く来る場合もあると思うので、保冷剤、蓄熱材のついたコンテナに越したことはないと思います。個人的に出かけるときにお弁当に保冷剤を敷いても、下の方と上の方で温度差があったりするんで、できればより保温性のいいコンテナでやってもらいたいなと思います。せっかく冷蔵庫を用意して学校側の配膳室の設備を完全しているのに、持ってくるときに何かがあったらもったいない気がします。安全にということを目指すのであれば、衛生管理は徹底的にやってもらった方がいいと思います。

西村委員

1点気になったのは、コンテナの中を見せていただいて、保冷剤、蓄熱材のついたコンテナは、弁当が中にあまり入らないように感じました。そうすると業者の作業の量が増えてくると思います。そういった作業が増えてくると、必然的に納品する時間を早めることになり、お弁当の仕上がる時間も早くなることにつながります。標準のコンテナと性能は違うのでしょうか。

事務局

サンプルとして、サイズの違いと深さの違いも見ていただこうと思ってお持ちしました。保冷剤、蓄熱材のついたコンテナのサンプルは汁物用、標準のコンテナのサンプルは主食や副食用なので、大き

さに違いがあります。確かに、業者がよく使用されるのは大きいコンテナです。

委員長 容量等は問題ないということですね。

事務局 コンテナ1つに対して概ね20個程入れることができます。

西村委員 容量などを心配する必要がないのであれば、学校に届いてからの管理も必要ですが、それまでの出来上がってからの管理も大切なので、よりきちっと保温保冷できる状態で持ってきてもらうのが一番だと思います。

委員長 議論も尽くしたようです。結論としては本市においては保温コンテナのままの保管ではなく、コストはかかりますが特に衛生管理に万全を期すという意見が多かったと思いますので、各配膳室に温蔵庫と冷蔵庫を配備するというところでよろしいでしょうか。

委員 異議なし

委員長 またコンテナにつきましても、保冷剤、蓄熱材で温度管理をしっかりやっていただくということで問題ないでしょうか。

委員 異議なし

委員長 それでは、第1回の検討委員会から協議させていただいたデリバリー方式中学校給食の提供方法については、保温コンテナから冷蔵庫や温蔵庫に移し替えて保管し、主食と汁物は温く、副食は衛生管理上冷たく提供するというにしたいと思います。

本日欠席の岡部委員の意見書にも、衛生面等を考えていただきたいというご意見と、弁当の内容についても汁物等の1品を添えるということで意見を預かっております。同じく吉田委員についても汁物等の1品をつけるという意見をいただいております。

委員長 次に、議事(3)「各中学校配膳室について」ですが、事務局よ

り説明をお願いします。

事務局

(説明省略)

資料5、6を利用して、配膳室基本条件、近隣視察自治体の配膳室設置状況について説明

委員長

委員の皆様何かご意見等ありますでしょうか。

竹田委員

吹田市の見取り図を見て思い出したんですけど、一番良かったことは、子どもたちの動線がとれたことです。入口と出口がきちりとありました。1人1人にボックスがあってごはんやおかずをまとめて入れて配膳する方法もあるようですが、吹田市の場合は、ごはん、おかず、牛乳、と順番に渡していく方式でした。慣れたら自分たちでとっていました。まずその前に食券を確認する作業もありますので、動線がきちりとれるということはかなりいいことだと思います。

委員長

はい、では続いて説明をお願いします。

事務局

(説明省略)

資料7、8を利用して、各中学校配膳室候補について説明

委員長

委員の皆様ご意見等ございますでしょうか。

筒井委員

中学校において子どもの動線を考えたときに、現在の購買部の場所を配膳室にできたらいいんですけど、後ろの壁がぶちぬけない等の事情があり1教室分のスペースがとれないため、第一中学校はこの3つを候補にあげさせてもらいました。本来の希望としてはそういうところもあったのですがなかなか厳しいです。実際に動いてみないとわからないこともあると思います。

委員長

はい、事務局続いて説明をお願いします。

事務局

(説明省略)

資料9を利用して、中学校給食実施に伴う各中学校の購買部の運営

について説明

委員長

それぞれの立場でのご意見をお願いいたします。

筒井委員

第一中学校の購買部廃止というのは、中学校給食が始まるから廃止というのではなく、ずっと長い間購買部に来ていただいていた方がこれを機会に辞められるということもあってのことです。購買部ではパン販売もしていますが、これは当然当日に対応できる提供方法です。中学校では朝にコンビニで弁当を買ってくることも禁止はしていませんが、何人かにはパン販売をしています。第一中学校ではたまたま購買部の方が辞められるということで、そこまで手が回らないので購買部をなくすということでした。体操服や体育館シューズ等については担任等が対応していく形にしていきます。第一中学校はそういった意味合いもあって購買部をなくす判断をしました。

委員長

尾崎委員、保護者としていかがでしょうか。

尾崎委員

私が中学生のときは購買部があったので、あるものだと思ってしまいます。購買部でパンやおやつが買えるのがちょっとした楽しみで、お弁当を食べたあとのデザートで友達と買いに行くということはよく聞きます。全員給食であれば購買部はいらないと思うのですが、当日お弁当を忘れてきている子も実際にはいます。みんなに分け合ってもらっている子もいればそうじゃない子もいます。縮小でもいいので購買部があれば嬉しいかなというのが保護者としての意見ではあります。水着や体操服を売ってくれるのもとても助かります。

竹田委員

第三中学校ですが、唯一食堂を運営している学校です。主にPTAの方が運営してくださっています。具材や商品の支払い等は教頭が代わりにしていますが、PTAが補助をしてくださっています。中学校給食の事業が決まった時点で、平成26年度末で食堂の運営は終わると決まったと、どの先生よりも長く勤めてくださっている従業員の方々に伝えました。わかりましたということで理解してくださりました。お弁当を作れない状況である家庭の子が、我々の作ったカレーやうどんを食べているので、その代わりと

なる中学校給食が出るのであれば良いことだと言ってくれています。私も摂津市の出身で、一中の食堂で食べたカレーやうどんの味がそのまま三中につながってきていて、その味が絶えるということで悲しいですけれども、より安全な給食を子ども達に食べさせられるということで、いいことではないかなと思っています。その後の配膳員さんの雇用などのときにはまたお話をするかもとは言っていますが、もし機会があれば子どものことを誰よりも知っているこの方達が配膳員になってくれたらと思います。

濱西委員

私は二中と三中で勤務経験がありますが、担任をしてお弁当を忘れたという子がたまにあります。お金を貸して購買部で買っておいでということが何回かあって助かったことがあります。購買部がなかったら体操服等を別の場所に行きに行くことになりますが、お店が7時までの場合に、保護者の方が働いていて生徒もクラブもあるので、学校で必要なものは学校で買えるというのは、保護者と生徒にとってはすごく便利なことではないかと思っています。

西村委員

食育の観点で考えると、きちっとお弁当が用意されていて補助的な部分でパン等を活用するのであれば問題ないかと思うのですが、そちらがメインになってしまって、お昼が「菓子パンとジュース」になってしまうと、食育の観点から見ると厳しいかと思っています。ただ誰でもそうだと思いますが、バイキングと一緒に、選択肢がたくさんあるとどうしても自分の好きな方を選んでしまうと思います。菓子パンを食べてはいけない、ジュースを飲んではいけないというわけではないですが、それがメインになるのは良くないです。購買部で補えない部分をご家庭で用意していくのであれば問題ないです。ただなかなかそこまで用意するのは難しいと思います。だからどうして下さいという意見は言えないですが、食育の観点からは購買部のあり方は難しい問題だと感じています。

委員長

購買部の存続と給食の利用率の関係というのはどうでしょうか。

事務局

購買部のパン販売と給食の利用率の関係ですが、吹田市と茨木市でどちらも比較的喫食率の高い学校を視察させていただきました。概ね30～40%ある学校でした。茨木市は購買部もなく近隣にコ

ンビニもない状態での30～40%ということで、その学校や市教委の方でも、中学校給食をするのであれば購買部はなくす方が利用率は上がるという意見でした。一方で吹田市では近隣にそういった店舗もあり購買部も存続していながら30～40%ということで、真逆の意見だったので一概には言えないということがわかりました。

委員長

ご意見よろしいでしょうか。

尾崎委員

給食のことをお話させていただいて考えていたことがあって、毎日ちゃんとお弁当を作ってもらえる家庭の子どもと、一方で親の事情や家庭の事情でちゃんと弁当を作ってもらえず、結局はコンビニや購買部でパンを買ったりという子も中学校にはいます。その比率は中学校や市によっても違うと思います。摂津市が、その比率が大事なのか、それとも、市としてお弁当を作ってもらえない環境の子どものためにも食育という意味で助けてあげないと、ということでのデリバリー給食と購買部のパンであるのか、どちらに比重をおいて考えたらいいか迷います。お弁当を持ってこれない子どもが多い学校は購買部があった方がいいのか、数の多い少ないで決めていいのかというのが難しいです。お弁当を持ってこれない子が10人いるからそうしてあげましょう、こっちは3人しかいないからそうしません。という風に決めるのが正しいのか正しくないのかがわかりません。だからと言って、お金のかかることもありますいろいろな事情もあるので、常にそういったことが頭をよぎって意見を出させてもらっています。購買部にしても、「パンを食べたい、給食なんていない。」と子どもがお母さんに言ってしまえば毎日パンを買って食べてしまうと思います。基本は親だと思います。家庭の親御さんがその子のために、「そんなものはあげれません。ちゃんとお弁当や給食を食べなさい。」というのが理想だとは思いますが、そうでないお子さんもいるのが現実です。結局そうすると、購買があってもなくても、パンが食べたい子はコンビニでパンを買うと思います。だからどこに基準を置いたらいいのかが難しいです。ただ選択肢が多い方が子どもにとってはいいのかなと思います。学校に行く前にコンビニに行って何かを買うよりは、学校でお弁当やパンが選べる方がいいのかとも思います。ただ給食なので、そこが

難しいです。

保護者の方の意見ですが、給食が嫌な子も多いです。小学校からずっと給食が嫌で、中学校になってやっと給食じゃなくなる、好きなものが食べれる、お母さんのものが食べれるっていいことだと思います。逆に小学校のときは給食だったので考えなくてよかったけれど、中学校になってお母さんがお弁当を作ってくれなくて自分はずっとパン食だ、コンビニのお弁当だという思いを子どもにさせてしまう場もあると思います。デリバリーの給食になれば自分だけじゃなく誰かも頼んでいるのでその負担は軽くなる気がします。購買部があった方がいいかの結論は出ないんですが、中学生はしっかりしていて「嫌なものは嫌」と親に言って、言うことを聞かなくなると聞くので、お金だけ渡してしまうということもあると思います。購買部がある方がいいかどうかの答えはないような気がします。

委員長

確かにそれぞれの立場から考えると難しい問題かと思いますが。筒井委員いかがでしょうか。

筒井委員

1年生を見ていると、保護者はしんどい目をして作ってくれていると思いますが、大体90%程はお弁当です。ただ、2年生、3年生になると、別に弁当を作れないわけではなく、本人がパンを買いたいということで購買部を利用する子もいます。毎日パンの子や、食堂でうどんだけすすっている子を見ると、3食の中でどこかできちっと栄養を摂ってほしいなと思います。自分自身も3食のどれかではきちっと栄養を考えます。これだけお金をかけてデリバリーの給食をしますが、喫食率というのが大きいと思います。1人2人だけが給食を頼んでも、私だけが頼んでいるとなるとなかなか頼みにくいと思います。中学校の立場としては、3割～4割に喫食率を上げる努力はしたいと思います。昼に栄養を考えた食事を摂ってもらうための努力はしたいと思いはあります。ただ、購買部をなくすとその日の対応ができなくなり、外に買いに行かないといけないというところはあります。

委員長

購買部については学校間で差があります。他市でもばらつきがあるように思います。現状や今後の予定もばらつきがあって当然かも

しれません。また学校のまわりにコンビニがある等の近隣の様子によっても違います。外部の要因も関係があると思います。また一概に、購買部のあるなしで喫食率に影響があるというのは言い切れない部分もあると思います。一方で、喫食率向上のために購買部をなくすということや、せっかくバランスのよい中学校給食を提供するわけですので、利用する環境作りを学校が考えていくことも大事かと思えます。ここでは最終的な結論はこの委員会ではなかなか出せませんが、委員の皆さんの意見を踏まえて、各学校の考え方を尊重していくということによろしいでしょうか。

委員

異議なし。

事務局

委員の皆様、貴重なご意見をありがとうございました。各市、各学校で置かれている環境や状況は様々です。それを一概にこうと決めることはなかなか難しいと思いますので、各学校の意見を尊重するという形で、事務局のほうから各学校にお伝えしたいと思えます。

委員長

それでは、次の議事に入りたいと思います。議事④「委員からの要望書」についてですが、事務局より説明をお願いします。

事務局

(説明省略)
資料10、11を利用して、要望書について説明

委員長

ご質問等ありますでしょうか。

委員長

内容的には今回の委員会の協議事項ではなく、今年度末に予定されている検討委員会での、調理業者や予約システム等の仕様に関する項目もいくつか見られます。時間の都合も考えて、いくつか項目を絞って協議した方がよろしいでしょうか。事務局いかがでしょうか。

事務局

現時点で内容的にはっきりと答えられるものとそうでないものがあります。また中には委員の皆様につきりとお伺いしたい項目もありますし、市として協議検討したい項目もあります。第3回の

検討委員会でいくつか項目をピックアップして協議するという
ことはいかがでしょうか。

委員長

事務局より提案がありましたが、委員の皆様どうでしょうか。尾
崎委員いかがでしょうか。

尾崎委員

はい、お願いします。

委員長

それではこの議事については第3回に持ち越しということにし
たいと思います。

続きまして、議事⑤その他ですが、事務局より説明願います。

事務局

(説明省略)

第3回の日程、協議内容等について説明

委員長

では本日はこれで終了させていただきます。

